

キャッチフレーズ

「明るいあいさつ しっかり返事 響く歌声」

せな



龍郷町立大勝小学校 学校便り 令和5年1月号

入試のシーズンを迎えて（思い出）

校長 前田 浩之

42年前のこの時期、私たち大島高校国公立大学受験組は、フェリーで大挙、鹿児島へと向かいました。共通一次試験（「センター試験」の前身、今は「大学入学共通テスト」）を受験するためです。当時は島内での受験はできず、鹿児島大学での受験でした。南国奄美の高校生にとって、県本土の真冬の寒さは脅威であり、名瀬のアーケード街で南極探検隊のような厚手のコートと着たことのない股引（ももひき）を購入、受験に臨みました。しかし、緊張感はあまりなく、修学旅行のない大島高校生にとっては、なにか気分が高揚するような旅行気分が大きかったのを覚えています。

鹿児島新港近くの春山旅館（すでに廃業）に前々日入りしましたが、窓の外を眺めると空からチラチラ白いものが降ってきます。友人の一人は興奮して「おい、これ、もしかして雪じゃないか？」と叫びましたが、知ったかぶりのもう一人の友人は「いやいや、これは、桜島の灰っちいうやつど。」と応えました。翌日は道に3cmほどの積雪。知ったかぶりの友人をからかいながら、会場を下見にでかけました。みちすがら、積もった雪に脚をとられ、受験生には禁句の「すべった。溝に落ちた。」を連発して、私は引率の先生にとがめられましたが、雪道を歩くという初めての経験に、みんな笑顔でした。

私の試験会場は鹿児島大学附属中学校の一教室。指先が凍るような寒さと南極探検隊のような防寒着のせいか、私の頭のはぼせ上がり、初日の数学の解答用紙にポタッポタッ、マークシートを鼻血で染めることとなりました。鼻血を止めようと上を向いたり、マークシートについての鼻血をふこうと下を向いたり、問題に集中できるわけではなく、数学は散々な結果となりました。

旅館に4泊、船中2泊。旅費、宿泊費に防寒着の購入代、両親にかかる経済的負担も大きなものだったと思います。離島のハンデを考慮し、島内受験が可能となった今の制度は、当然のことです。

鹿児島大学に入学した最初の冬でした。真夜中に私の部屋の戸を叩く音がします。「浩之、雪が降ってるぞ。散歩しようでい。」大島高校から同じ学部に入った同級生でした。学部が違い、入学以来疎遠になっていた同級生も誘い、三人で郡元から天文館まで歩きました。降りしきる雪の中、シマを離れた実感を共有していたと思います。傘も差さず薄着（南極探検隊は母に譲りました）でしたが、不思議と寒さを感じませんでした。甕島の小学校に勤めている友と、シンガポールで建設会社の役員をしている二人との思い出です。

受験のシーズン。6年生にとってはすぐ3年後のこと。入試は自分の未来のために行きたい高校や大学を選び、合格するための試験。そこには新しい仲間、一生の友となるかもしれない出会いが待っています。明るい未来のために、今をしっかりと頑張ってほしいと願います。

「上を向いている限り、絶対にいいことがある」

三浦知良（Jリーグのレジェンド）

「今を戦えない者に、次や未来を語る資格はない」

ロベルト・パッジョ（イタリアの世界的サッカー選手）

校内書き初め大会

1月14日に、校内書き初め大会を行いました。各学年、それぞれの手本をしっかりと見て、鉛筆、筆で書きました。どの学年の子どもたちも、集中して真剣に取り組み、書き上げた作品に満足気でした。



3学期始業式

1月10日に、3学期の始業式をリモートで行いました。代表の子どもたちは、冬休みの思い出と3学期の目標について、堂々と発表することができました。3学期は、1年間のまとめの学期です。学習したことを生活に生かすことができるように心掛けてほしいと思います。



2月の行事予定

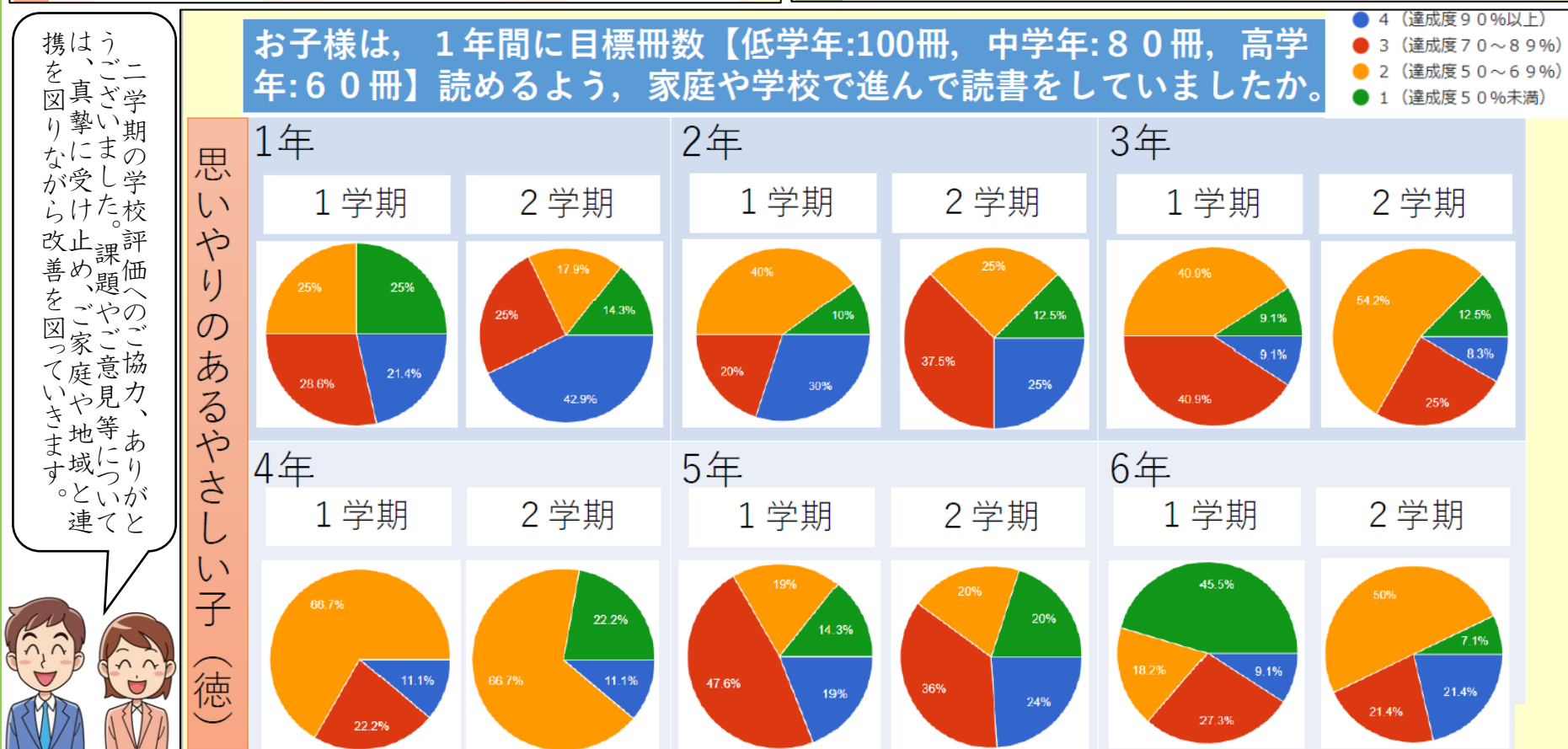
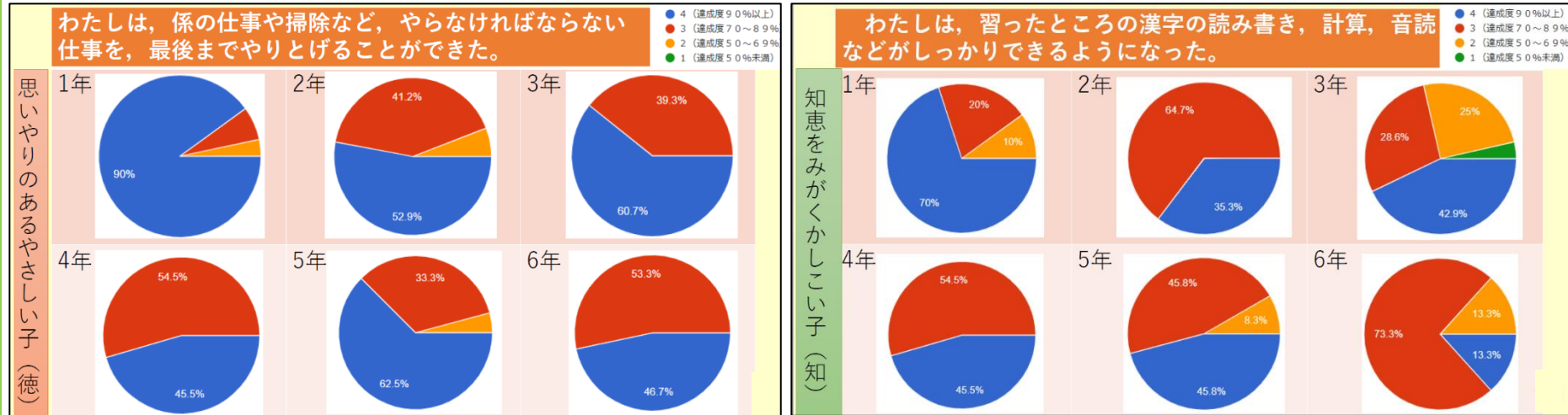
4日(土)	第6回子ども博物学士講座
6日(月)	SSW来校
9日(木)	新入学児体験入学・保護者説明会
11日(土)	祝日「建国記念の日」
15日(水)	PTA理事会
19日(日)	町民フェア
23日(木)	祝日「天皇誕生日」 親子読書の日
24日(金)	学校保健安全委員会 なわとび大会 学級PTA SSW来校

2学期の学校評価について

昨年の12月に、児童や保護者の皆様、教職員に学校評価のアンケート調査を行い、その結果を全項目で学年毎に集計し、グラフ化しました。今回は、児童の評価が特に高かった項目を2つ、保護者の評価が特に低かった項目を1つ載せております。

この結果を考察すると、子どもたちは、「係の仕事や掃除などの自分の仕事を最後までやり遂げることができた」という自覚があることが分かりました。また、「漢字の読み書きや計算、音読などができるようになった」と、繰り返し練習しながら学習内容を習得するために頑張ったことも分かりました。そして、保護者の評価で特に低かった項目である「学校や家庭での読書」については、1学期と2学期と比較しました。すると、これまでの取組も踏まえると、「親子読書への取組が充実してきている」ことや「読書をする子どもが増えた」こと、「学校と家庭での読書時間に差がある」ことが分かりました。

この結果を踏まえて、改善を図り、3学期の教育活動に生かしていきたいと思っております。



うご二学期の学校評価へのご協力、ありがとうございます。課題やご意見等について携を図りながら改善を図っていきます。



思いやりのあるやさしい子(徳)

おめでとうございます

【奄美新聞社 年賀状コンクール】

優秀賞 5年

佳作 5年

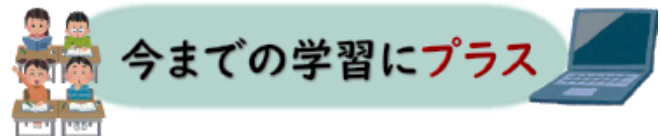
【龍郷町西郷南州顕彰書き初め大会】

優秀賞 1年

タブレットの持ち帰りについて

3学期からタブレットを持ち帰っての家庭学習が始まりました。今後も継続して取り組むことで、キュビナなどの学習支援アプリを活用しての学習だけではなく、調べ学習や調べたことをまとめるなど、家庭学習がより充実すると思っております。

学校では、先日配付したタブレットの使い方のルールを基に繰り返し指導しています。ご家庭でも、「学習以外に使用しない」、「夜9時以降は使用しない」など、タブレットの使用のルールを決め、家庭学習に役立ててほしいと思っております。



- 🔦 知りたいことをとことん学べる
⇒インターネットで情報収集
- 🔦 自分のペースで学べる
⇒苦手なことはじっくりと、得意なことはどんどん進んで学べる
- 🔦 一緒に考えられる・まとめられる
⇒情報共有や意見交換が簡単にできる
- 🔦 離れていてもつながる
⇒学校にいなくても宿題等の提出や受け取りができる